

# 会 議 要 旨

(1 / 7)

会議の名称	第5回川越市都市再生整備計画審議会
開催日時	令和4年1月19日(水) 午後1時開会・午後5時閉会
開催場所	南公民館 講座室2号
会長氏名	会長 尾崎 晴男
出席者(委員)氏名 (人数)	町田 明美、秋山 修志、飯島 希、山下 利一 (4名)
欠席者(委員)氏名 (人数)	(0名)
事務局職員	都市計画部長、都市計画課職員2名
説明のための出席者	川越駅西口まちづくり推進室 8名 こども政策課 2名 道路環境整備課 2名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議題1 会長の選出</li> <li>議題2 都市再生整備計画 事後評価 川越市中心三駅周辺地区</li> <li>※途中、視察あり</li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次第</li> <li>2 川越市都市再生整備計画審議会条例</li> <li>3 川越市都市再生整備計画審議会会議運営要綱</li> <li>4 都市再生整備計画 事後評価シート</li> <li>5 視察行程</li> </ol>

## 議 事 の 経 過

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 議題

## (1) 会長の選出

尾崎晴男委員で決定。

## (2) 都市再生整備計画 事後評価 川越市中心三駅周辺地区

説明

視察

質疑

(委員)

1点目、事後評価シート・様式2-2、「まちづくりの目標」の小目標①にある「あらゆる世代の」と記載がある。指標1が「地区内人口」の総数で評価しているが、総数のバックデータとして各世代の人数の増減を捉えた方が、あらゆる世代の快適な生活に貢献していることの裏付けになるのではないかと。

2点目、今回の計画はハード的な話だったが、『U\_PLACE』の「福祉総合相談窓口」『すくすくかわごえ』の相談員等の質が求められていると感じる。今回の話題ではないかもしれないが、人をどう育てるかも大事だと思う。

3点目は、使い勝手について。デッキはとても綺麗にできたと思うが、直角に曲がらないと降りることができないことや、すくすくかわごえでの送迎もとても良い取り組みだと思うが、車で来る人の安全面や使い勝手などについて、どう改善していくかを考えてもよいのかなと思う。

アンケートを行い、使う側の意向を把握するといいいのではないかと感じた。

## (川越駅西口まちづくり推進室)

1点目について、年代別にどのような動向があるか、実際に都市再生整備計画を策定するに当たり、若年層や高齢者層の人口を指標に載せてはどうかを検討し、また国とも相談をした。結果、計画としてわかりやすくということで、全てまとめた人口で指標を設定することとした。年代別の人口の動向は、今回の事後評価を機にデータを集め、次期計画に反映させていきたいと考える。

2点目の相談員等の育成、3点目のアンケートを行い改善することについては、同シート様式2-2「今後のまちづくりの方策」に、

## 議 事 の 経 過

「施設の利用促進に向けた取り組みを行う」と記載している。今回の意見も反映させて、今後のまちづくりの取り組みを進めていきたいと考える。

(委員)

評価の仕方については、異論はない。

U\_PLACE では、コロナ禍でも利用者が増えている。コロナがなければ、成果や評価が高くなったのではないかと少し期待したところである。

今後、U\_PLACE などの整備したところの周知や広報を強めていくと、より利用者も増えていくのではないかと思う。

ロコミで広がるような、まちのキーになる人たちとの連携をうまく作り、まちの賑わいにも貢献していけたらと思う。

都市再生整備計画の目的の「地域住民の生活の質の向上」も、充分だと思う。「地域経済」についても、地価も上がっているということで、活性化・賑わいも十分に整備されていると思う。そういった意味では、目的を達成した5年間ではないか。

ウエスタ川越、U\_PLACE、すくすくかわごえに多目的な部屋があるが、使い分けが曖昧な気がする。誰がどのような目的で使えるのかを明確にすることで、団体同士の結び付けなどの賑わいを作り出す架け橋になるのではないかと思った。行政だけでなく、地域活動に貢献する・賑わいを創出するような地域の活動団体も使えるようにすると、まちがどんどん活性化していくと感じるので、使い方を検討していただきたい。

(川越駅西口まちづくり推進室)

個々の施設の運用の連携について、同シートの「今後のまちづくりの方策」の施設の利用促進に具体的に盛り込み、庁内で情報共有して改善していきたいと考える。

施設の周知・ロコミについては、うまく活用できればと考えている。

(委員)

川越に住んで約60年になり、まちの変化はよくわかる。

これからは、でき上がったものを次のステップに繋げていき、住んでいる人も川越に住んで良かった、また、観光客も川越に行きたい・行って良かったというまちになればいいなという思いである。

## 議 事 の 経 過

## (川越駅西口まちづくり推進室)

今後のまちづくりについて、当該エリアでは、第二期都市再生整備計画で今後のまちづくりに繋げていく予定。

今、まちづくりにおいて、防災・減災など災害についての意識が高まっており、そういった対策が必要である。また、コロナ禍において、コロナとともに生きていくにはどのようなまちが必要なのか国からも言われており、ウォークブルなまち・歩きやすいまち、オープンスペースで憩えるようなまちが求められている。現在検討している第二期計画においても、その点を強く意識した計画になっている。川越地方庁舎跡地のオープンスペースを、防災機能を持った広場として整備する、また、そこへアクセスする道路を整備していく。このような道路は、アクセス道路の機能だけでなく、延焼遮断帯としても機能する道路で、火事の場合、道路を挟んだ反対側には燃え広がらないといった機能もある。

道路については、ウォークブルということ、歩道がなくて歩きにくい・危ないといったところに歩道を整備することによって歩きやすくする、また、災害時だけでなく平時にも、広場やオープンスペースにアクセスできる道路にすることを考えている。

以上の点を主眼において、このエリアでのまちづくりを考えている。

## (委員)

川越駅東口の駅前広場の改修について、時間帯によってアトレの裏の道路に渋滞が起こっている。駅前広場にモータープールを設けるなどの考えはあるか。また、お手洗いについて、知っている人が少ないと感じる。案内などをもう少し多めに出すと、利用が増えるのではないか。

子育て支援施設の一時預かりについて、もう少し利用人数が増えないと、委託業者が続かないのでは、告知して利用増となる努力をしないと委託業者が出ていかれるのでは、と心配である。

## (道路環境整備)

今回はデッキ部分の耐震補強や屋根・トイレ・エスカレーターを設置など、利便性の向上がメインの改修であったため、アトレの裏の道路の渋滞に関しては、現地を確認し、維持管理の中で対応していきたいと考えている。

## 議 事 の 経 過

お手洗いについては、改札と同じ階の方が使いやすいということで2階に作った。案内については、市民の方からご意見をいただきながら対応していきたいと考える。

## (こども政策課)

保育ステーションの稼働率について、オープンが今年の夏でまだ間がないということもあり、年度途中での申し込みも低い状態である。今後の保育のあり方については、今、川越市の待機児童が徐々に減っている状況で、「入りたい保育園に入る」ということから、保護者の方は保育の質に着目している。また、川越市はとても市域が広く、特に郊外には園庭の広い保育園がたくさんある。一方、市としては都市機能の集約を図る上で、どうしても人口が中心に集中してしまう。街中に園庭の広い保育園をつくることはなかなか難しい。保育ステーションの利便性を市民の方に理解していただき、利便性の向上や周知を行うことで、子育て世代のニーズに合う施設にしていきたいと考えている。

一時預かりの稼働率について、通常一時預かりについては、例えば親が冠婚葬祭で子どもを連れて行けない、仕事の関係で預かってもらいたいなどのケースが多いが、リフレッシュ等の目的でも利用可能なため、そういった部分をしっかり周知して、稼働率を上げていきたいと考えている。

## (道路環境整備課)

東口のモニュメントについて、東口は竣工から約30年経過し老朽化していたこと、バスがバス停にまっすぐ止まれず乗り降りに不自由していたことから撤去した。モニュメントを撤去して残った部分は、地下駐車場の排気筒として地下の排気ガスを排気する機能がある。もう少し低くできないかということも検討したが、音やにおいが漏れたり、地上を歩いている方や2階部分への影響を考え、景観に合うように補修をした。

## (委員)

指標の評価値はいつのデータか。例えば評価値に(R1)と書くなご、この数値がいつのものかわかる方が明確なのではないか。

## (川越駅西口まちづくり推進室)

指標4の評価値は、令和2年度の通行量調査を用いている。

## 議 事 の 経 過

令和2年度の調査地点数は、令和元年より少ないため、指標1については、最新データが令和元年度のものである。今後、フォローアップ調査で改めて最新数値を把握し、公表する予定である。

事後評価書の表記については、意見を踏まえて表記するように修正したいと思う。

(会長)

現場を見てよくわかったという意見があった。よい仕事をした結果だと思う。

委員の皆さんの意見をまとめると、次にうまく繋げながら、まちづくりに貢献するように運営してほしいという意見であった。

事後評価シート（添付書類）(6) 評価委員会の審議中、「成果の評価」の指標について、地区内人口の各世代がどのように変化しているかに着目するとよいのではないかという意見があり、担当課から反映するとの説明があった。委員会の意見として入れていただければと思う。

「実施過程の評価」は、適切に行われたと思う。モニタリングは継続して欲しい。

「効果発現要因の整理」は、委員の皆さんから適正に実施されているとの意見があった。

「事後評価原案の公表の妥当性」は、意見が2件あった。きちんと実施した結果ということで、妥当だと考える。

「事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員の確認」は、妥当に進められたと思う。

「今後のまちづくり方策の作成」に対しては、周知、知ってもらう努力が運用上必要であることなど、意見がたくさん出た。委員会からの意見として反映して欲しい。よいものを作ると評価・周知される。周知されるような作り方を意識しながら進めて欲しい。

「その他」は、相談員の育成についてや、多目的室の利用環境について、交流を促す・にぎわいを創出するための仕組みに配慮した利用環境にしてはどうかという意見があった。

また、東ロデッキの整備の高質化の話があったが、今後、周辺道路を含めた整備、安全安心の向上というものを進めてはどうかという指摘があった。

ほかに、施設運営についてアンケートを取ることや、お手洗いの周知・デッキの動線・送迎保育について使い勝手がよくなるような運営への指摘があった。

議 事 の 経 過

最後の「その他」について、住んで良かった、来て良かった、そういうまちづくりを引き続き進めてほしいという意見があった。安心安全、防災、ウォークアブルというようなことを第二期都市再生整備計画でと委員会の意見があったということ記録してもよいかと思う。

他に質疑がなければ、議題2について、以上、取りまとめた内容でよいか。

意見なし。

4 その他  
なし

5 閉会